

「TFCA から FPIC への歩み」 主要年譜

- S60.9~ 野田愛子東京家裁所長の勧めで、調査官在職中に培った専門知識・技法を退職後に社会還元する目的で、沼邊愛一元調研所長を中心に調査官 OB 有志が協会設立を目指し 18 回会合
- S61.9.1 「東京ファミリーカウンセラー協会設立の趣旨」を公表し参加を呼びかける。
- S62.3.24 在京三弁護士会と協会との協定成立
- S62.5.7 東京ファミリーカウンセラー協会（TFCA）設立総会・初代会長沼邊愛一氏 会員 24 人 顧問 3 人 法曹会館での発会式に加藤一郎氏ら錚々たる来賓 23 人が参加し、会員たちを感激させた。事務所を新井常務理事宅に置き、相談室は会員が自宅や縁故者の部屋を相談室としたり、大学の相談室、教会、喫茶店などで面接相談を行ったりしていた。やがて講演業務、鑑定業務も開始する。
- H 元.5 野田先生のご尽力と国際教育交流馬場財団（市ヶ谷）のご厚意により、1 室を週 2 日事務所兼相談室として使用できるようになる。それでも相談室の借り暮らしは続く。H3.2 馬場財団の移転に伴い事務所兼相談室も一緒に外神田に移る。
- H3.5.22 第 5 回定時総会において萩原太郎氏が第 2 代会長に就任 会員 52 人
- H3.8.7 家庭局長が TFCA を積極的に支援することを伝え、TFCA の幹部（瓜生、篠田、菊地、田中）が家庭局と組織の整備等についての協議に入る。
- H4.2 最高裁事務総長に就任された千種秀夫事務総長は、着任早々、山田家庭局長から家庭局所管事項の説明の中で、TFCA が事務所も相談室もなく苦勞していることを聞かれて、早速、増岡章三弁護士に協力を求められ、その仲介により、生野重夫セゾン生命会長からサンシャイン 60 ビル 3 階の 1 室を 2 年間無償で貸与するとの承諾を得る。
- H4.5.13 第 6 回定時総会の開会挨拶の中で萩原会長は、「本年度は当会の歩みの中で画期的な年になる。最高裁事務総局、野田先生のご尽力により、事務所兼相談室の新設の目途がついた」と述べられ、会員の喜びは大きく士気は高まった。
- H4.8~ TFCA がサンシャイン 60 ビルに事務所・相談室を設けることを、マスコミは大々的に報じ、TFCA を紹介した。
- H4.9.10 サンシャイン 60 ビル 3 階に TFCA 事務所及び相談室を開設 連日のマスコミの報道で、相談申込の電話が殺到し、10 月ごろまで予約で満杯となる。
- H4.9.30 TFCA 新事務所・相談室開設披露パーティー開催 於 サンシャイン 60 ビル 招待者は矢口洪一前最高裁長官、最高裁から千種事務総長・局課長、在京三弁護士会会長、生野セゾン生命会長、増岡弁護士、沼邊初代 TFCA 会長、金平都副知事、マスコミ関係者等計 67 人となっている。会員 84 人
- H4.10~ 法人化に向けて家庭局の協力を受けながら本格的に始動する。
- H5.3.6 TFCA の解散決議・社団法人家庭問題情報センター（FPIC）の設立決議総会開催 於 法曹会館
- H5.3.31 社団法人家庭問題情報センター（FPIC）設立法務大臣許可、即日登記 理事長 萩原太郎 副理事長 野田愛子 専務理事 篠田悦和 常務理事 瓜生 武 相談室長 浦田 久
- H5.4~ 野田副理事長、理事が寄附金と法人特別会員加入のお願いに企業を訪問
- H5.517 社団法人家庭問題情報センター設立披露パーティー開催 於 サンシャイン 60 ビル 招待者は最高裁から千種事務総長・局課長、在京三弁護士会会長、マスコミ関係者等 68 人、矢口前最高裁長官、増岡弁護士、生野セゾン生命会長、沼邊初代 TFCA 会長、金平都副知事等顧問 20 人、糟谷忠男公証人等特別会員 8 人、総計 96 人となっている。
- H5.9.22 在京三弁護士会と FPIC との協定成立